

不二速報



発行日 2010年3月10日

第12号 次期学長との懇談会・静岡 報告号

和やかに懇談 2.26 次期学長との懇談会を行いました

「教職員が現在取り組んでいる活動を説明するとともに、組合員の皆様の声を、伊東次期学長に届けたい」との思いから、懇談会を行いました。静岡キャンパスから10名、浜松キャンパスから4名の参加がありました。やや緊張した雰囲気の中、自己紹介を行い、お弁当をひろげ、懇談会はスタートしました。これからの大学の運営について、宿舎、非常勤職員、技術職員、そして次期の執行体制について、みなさんが思いを伊東先生に伝えていきました。そして、大学予算に関する緊急アンケートの自由記述も、この日までに集約した分については、伊東次期学長に手渡しました。伊東先生からは、いまは学部長という中間管理職にあるので、みなさんの言われることも、また執行部の考えていることも、両方わかってしまうという言葉がありました。そして、「まだスイッチの切り替えができていないが、切り替えないでやっていければとも思っている」と語っておられました。懇談会の最後に伊東先生の「静大をいい大学にしていきたいという気持ちは一つです」という言葉に表れているように、とてもフレンドリーな懇談会となりました。

◆参加された皆様の感想です

◇ 人文学部支部教員

本日は次期学長の伊東先生と、組合の皆様方と意見交換をするという貴重な経験をさせていただきました。現在大谷宿舎が直面している問題だけではなく、学内の様々なところで生じている問題とその実態は、大学の今後に深く関わっていることを痛感しました。参加者の主張や議論を聞きながら、執行部だけではなく教職員も参加し、相互の議論を踏まえて問題の克服に取り組んでいくことの重要性を改めて認識しました。次年度以降はそうした場が設けられ、恒常化していくことに期待をしたいと思います。



静岡大学教職員組合
<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

静岡：
 〒422-8529
 静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:
 054(236)0173 (直)
 2790 (内線)

E-mail
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：
 〒432-8561
 浜松市中区城北三丁目 5-1

TEL/FAX:
 053(475)9035 (直)
 3910 (内線)

E-mail
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

目次：	
次期学長との懇談会 報告と感想	1~3
大学予算アンケートへ 寄せられたご意見	3.4



◇工学部支部技術職員

2月26日(金)11時30分より静岡キャンパスにおいて開かれた次期学長予定者(伊東幸宏氏)との懇談会に参加しました。

私は、主に技術職員の問題について発言しました。

私の主な発言はつぎのとおりです。

1. 技術部長会議で、技術部の統合について検討されているようですが、なぜ技術部を統合しなければならないのかという理由がよくわかりません。統合しなければならない理由を明らかにしていただきたい。
2. 技術部の運営上、問題点があれば教えてください。
3. 技術部の統合により、技術職員の処遇改善を図るということは、無理があります。

御承知のように、事務部のような組織は、人事異動を前提としておりますが、技術職員の場合は、人事異動がほとんど不可能です。したがって、事務部のように組織を大きくしても、矛盾が大きくなるばかりで、技術職員の処遇改善には必ずしもつながらないと思います。

4. 法人化後、「公募」で技術職員が採用されておりますが、「東海北陸地区国立大学法人採用試験」に合格していないという理由から、ほとんどの方の学歴は「大卒以上」でありながら、大変給与が低い状況にあります。早急に、学歴にふさわしい給与に改善していただきたい。このままでは、今後もずっと不利益を被ることになります。

これらの発言をしましたが、残念ながら懇談会ということで、伊東幸宏氏からは、明確な回答がありませんでした。

4月以降の団体交渉で引き続き追求していきたいと思っております。

◇本部・図書館支部教員

学内の色々な問題に触れる機会となりました。労働環境の話では暗い話になってしまいがちですが、学内で働く者として、明るく働ける環境づくりが進むことを願っています。

新学長をはじめとする新執行部の皆様には今後もこうした職員との対話の機会を作ってください、これからの静岡大学を職員と共に良くするという姿勢で臨んでいただければと思います。

◇教育学部支部教員

宿舎の問題、雇用・待遇の問題等々、懇談会で取り上げられた内容は一つ一つ重いと感じましたが、ざっ

くばらんに話し合える雰囲気です、その点はよかったですと思っています。伊東先生は、学長になられたらオフィスアワーを設けたいとおっしゃってくれました。大変ありがたいことです。ただし、一職員が学長室に出向くのはなかなか勇気がいるかもしれません。実施上の問題点はあるかもしれませんが、ぜひ前向きにご検討いただければうれしく思います。



◇工学部支部教員

本日は、時折雨も降る中、静岡大学の静岡キャンパスで「伊藤次期学長との懇談会」に参加させて頂きました。今回初めての参加だったため、どのような懇談会になるのか、少しワクワクしながら懇談会の成り行きを少し見守っていました。

最初に、挨拶と会の趣旨、参加者の自己紹介、懇談内容へと順次進み、特に懇談内容の中心としては宿舎問題、非常勤職員の雇止め、技術職員の待遇問題が話し合われ、普段あまり知ることができない大学の問題点を知る機会を得られました。

この懇談内容で私が質問したことは、助教等の任期及び昇進問題に対してですが、伊藤次期学長から真面目に仕事をしている方達に対して「講師」という新たな昇進ポストを用意する、という前向きな話を聞くことができました。この様な話しを聞いたことは、今後助教の方達の研究・教育の志気を高めることに繋がるため、非常に喜ばしい限りです。

◇教育学部支部教員

近く組合として対峙することになる次期学長の基本姿勢を確認しようと、参加させて頂きました。着任前でもあり、当然ながら慎重なやりとりでしたが、当面する諸課題を組合なりの角度で伝えられたことは良かったと思います。内外の制約の下、大学の理念共同体とでも言うべきあり方を、できる限り追求していきたいと思っております。どうもありがとうございました。

◇農学部支部 教員

現体制の反省を明確に、さらに新体制の人事の疑問

1. 現在の執行部興体制についての反省批判等について大半の大学のメンバーには明らかとなっていない、首をすえ変えた理由が判らない。

現大学役員会執行部のみでなく、このような大学の体制を許してきた現部局長らの責任も有ると感じる。

2. 年度末の工事の異常さやダブルディグリー留学生の

ための入居部屋確保に伴い、職員住宅に入居している人権を全く無視している状況を憂う。

3. 新執行部で、またも「財務・総務」担当者が文科省からの人事である点を上記の点からおおいに懸念する。



『大学予算に関する緊急アンケート』

ご協力ありがとうございました

今号ではお寄せいただいたご意見をピックアップしてご紹介します。
投稿者を特定できないよう、一部表現を変更いたしました。

大学の予算と決算について、もっとわかりやすい資料を教職員に公開してほしい。

国立大は国立大としての理念をもって確立したものであるのに、突然投げ出し、「経営を変えろ」というのは理不尽。

学務を集中化するのは業務内容によるけれど、すべて撤退することは学生から不満が出るのは確実。ちょっとした質問でもそばに係があるだけで助かることもある。

「十分な、理想的な」教育を行う上で、今の予算ではまったく不足。他で稼いだ金、教員のポケットマネーなどで教育を行っているところすらある。その実態を知ってほしい。

8月のお盆の休暇は、全教職員とも特別休暇とした方がいい。

国が人材育成にこそ多くの予算を投ずるべき。人が育たぬ国はいずれ滅びる。

登用試験の継続を要望。仕事の励みになる。

研究費に関して、総額以上に問題なのは、使途がプロジェクトに縛られ、結果として無駄が生じやすいことだと思う。事前の競合ではなく、事務的に評価し、次の自由な研究をさせるような配分の在り方が明らかに望ましい。

仕事が非常勤職員のサービス残業でまかなわれている部分もある事実を考えてほしい。どんなに仕事が増え、内容が職員と変わらないような仕事でも、給料がっさい上がる事がない事も腹立たしくも悲しくも感じている。大学を運営するうえで予算も重要だと思うが、大学を支えている人間にもっと目を向けていただきたいと思う。

必要なところに人員や予算が配分されていないのに、莫大な無駄遣いは相変わらず。若い世代にだけ過酷な生存競争を強いるような環境の整備ははたして理想的なのか。

優秀な人材を集め、大学のレベルアップを図るためには、給与面の充実が不可欠。

わずかでも賞与が欲しい。

常勤職員と非常勤職員が共生できる状況がより充実すれば、多方面での効率化につながると思う。

明るく楽しい職場のためにも、朝の挨拶の広がり期待している。

目的積立金の8割は人件費。人件費は人件費として、教職員の給与改善につかってほしい。

任期付きのため、次の職探しもあり研究に集中できない。これで若手研究者が成長できるだろうか。

これ以外にも、組合や書記局への叱咤激励を含めて、たくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。ご意見は、お寄せいただいたそのままのかたちで、大学側へ届けます。

地震県
静岡

火災や地震、風水害に備えませんか!?

教職員共済で

「自然災害共済」が4月1日スタート!

加入希望の方、興味のある方は、
書記局までご連絡ください。

※火災共済との同口同時加入が必要です。

第3回団体交渉

3月11日(木)実施!

「前回結論や合意を得るに至らなかった課題」

「国立大学法人静岡大学の今後の方向の見通し」 中心に交渉!

※ 詳細は第3回団体交渉報告号で

静岡大学教職員組合加入申込書

静岡大学教職員組合執行委員長 殿

年 月 日

私は静岡大学教職員組合に加入を申し込みます。

氏名		部局	
職種		内線	
E-mail		※加入後、お問い合わせしたいことがありますので、 内線、E-mailなど必ずご記入ください。	

ご意見ご要望などお書きください。

